

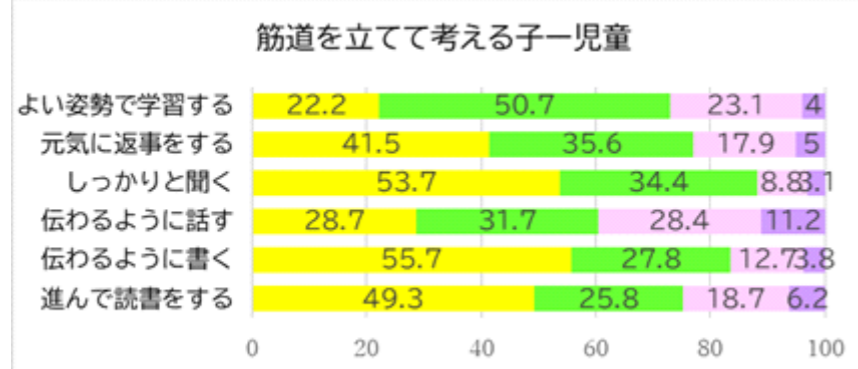
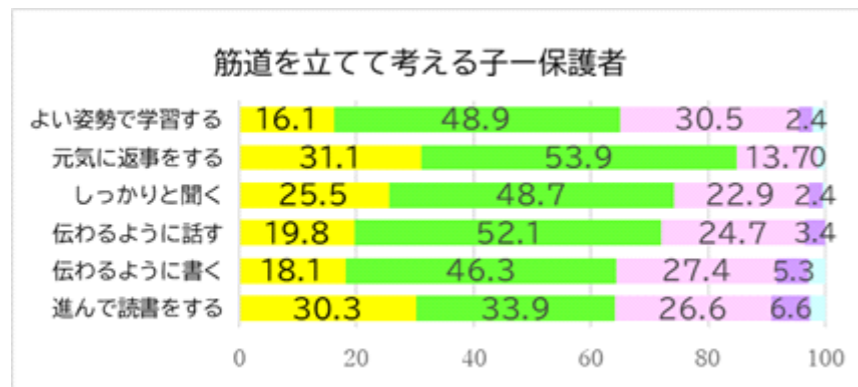
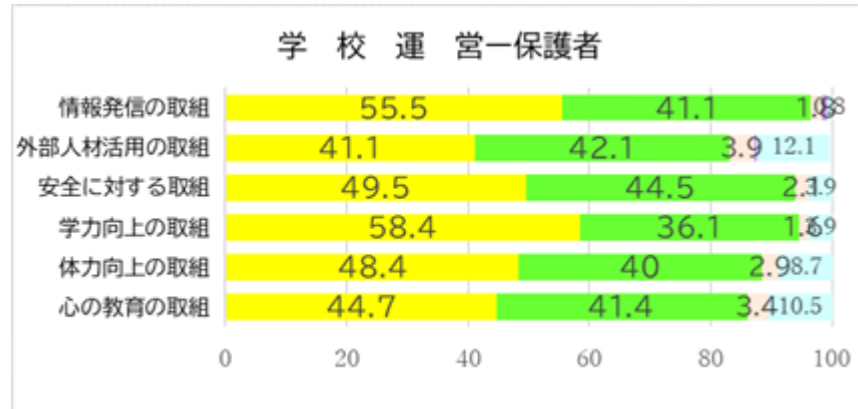
江別市立江別太小学校
学校便り
令和3年2月10日
学校評価 特別号

HP <http://www.ebetsu-city.ed.jp/ebuto-s/> 「江別太小」で検索を!

令和2年度 保護者・児童アンケートの結果

昨年末に行った保護者アンケートでは、回収率87%と大変多くのご家庭にご協力いただき、誠にありがとうございました。以下、同時期に行った児童アンケートの結果と合わせて、次年度に向けての方向性等についてまとめましたので、お知らせいたします。

4 3 2 1 △ ※上一保護者アンケート 下一児童アンケート



全ての項目において、高い評価をいただきました。特に「情報発信の取組」については、昨年度より約12%高い評価でした。新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組等の発信ができたと考えています。今後も迅速な情報発信をしていきます。



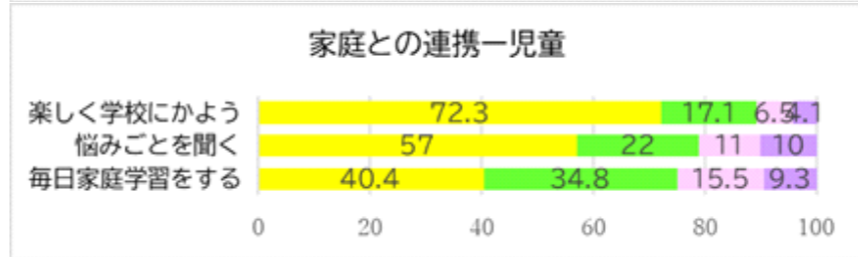
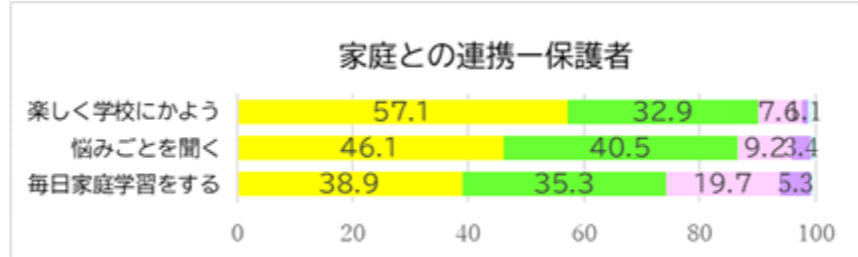
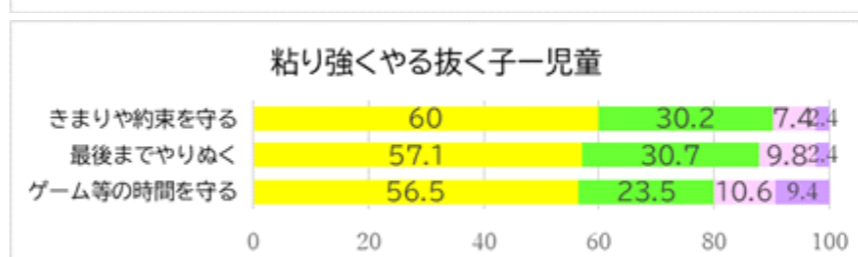
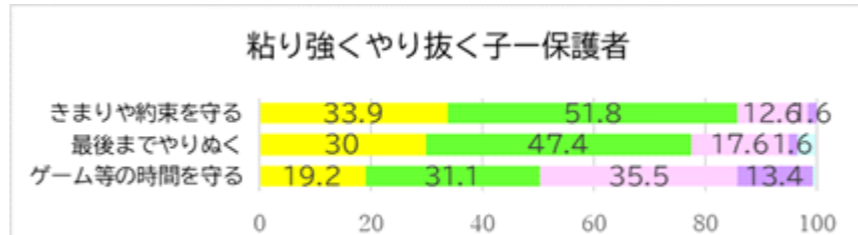
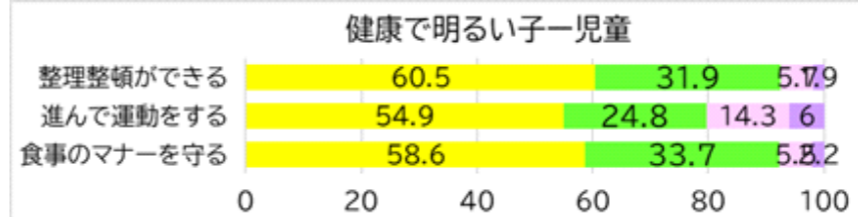
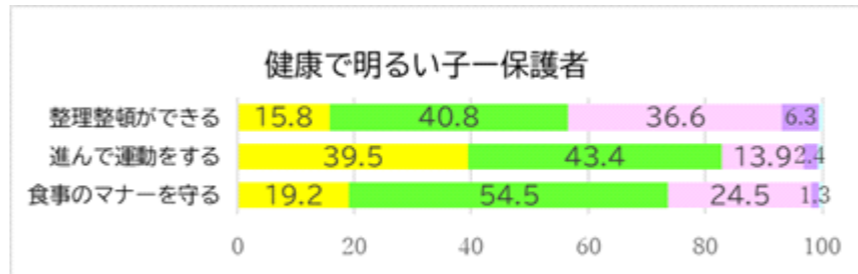
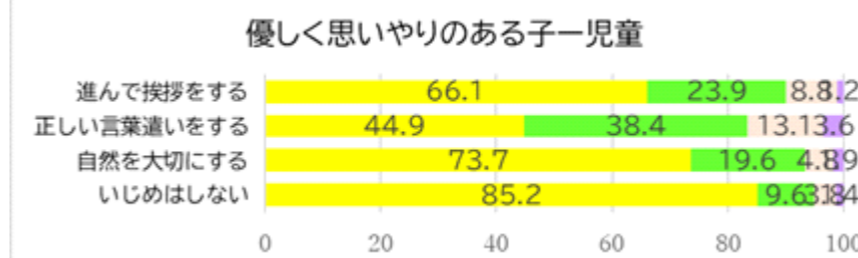
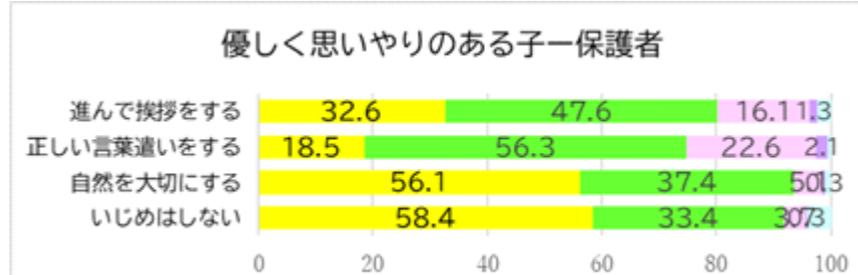
あいことば「あいさついっぱい・思いやりいっぱい・やる気いっぱい」の江別太小について、約9割の児童が「できた」「概ねできた」と回答しています。次年度は、特に「やる気いっぱい」の姿が多く見られるよう、指導を継続していきます。

「進んで読書をする」が昨年度よりも、保護者、児童共に5%程度上がっています。各ご家庭での働きかけや、各学級での読書活動への指導が成果となって表れていると考えます。

「聞く」「話す」「書く」が保護者と児童の結果に、多少の違いが見られました。保護者の皆様は、お子様の基礎・基本の定着に若干の課題があると考えていることがわかります。



現在の学習活動には制限があり「話す」の指導が難しい面がありますが、今後も「聞く」「書く」については、学習規律(ノート指導等)を徹底することで、指導の充実を図っていきます。



保護者の皆様が、「挨拶」「言葉遣い」に課題があると考えていることがわかります。校内では、児童会書記局を中心に挨拶運動を活発に行い、元気な挨拶ができています。しかし、登下校中やご家庭での挨拶をもっとという表れだと認識していますので、家庭、地域と一体となった指導を行っていきます。言葉遣いに関しては、裏面に見解を述べています。また、「いじめはしない」に関しては、高い評価となっていますが、100%になるよう、今後も指導を継続していきます。次年度も「思いやり」を育む道徳教育や生徒指導に力を入れていきます。

この項目も、保護者と児童の評価が違う傾向があります。特に、「食事のマナーを守る」に違いがあります。「新しい生活様式の定着」を図るためにも、学校、家庭で食事のマナーについて機会ある毎に指導することが大切だと考えます。また、今年度はコロナ禍のため、「進んで運動する」ことに難しさがありました。次年度は、生きる力の基盤となる健やかな体を育むための活動を工夫していきます。

この項目も保護者と児童の評価が違う傾向があります。特に「ゲーム等の時間を守る」に関しては、児童の8割程度が約束を守っていると回答していますが、保護者は4割程度に留まっています。学校便り1月号に記載した通り、「家庭が中心となり、情報モラルを守ることの大切さや時間等のルール作り」についてお子様にご指導いただくようお願いいたします。また次年度も、規範意識を育む生徒指導にも力をいれて指導していきます。

「楽しく学校にかよう」では、保護者、児童ともに高い評価でした。今後も、全ての子どもとなるように指導、支援を工夫していきます。また、家庭学習については、共に75%と決して低い数値ではありませんが、更なる取組の強化が必要だと考えています。今年度より家庭学習の時間の目標を「学年×10+10分」としておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

保護者アンケートに寄せられたご意見等への回答

	意見の概要	回答
学習面	「考える力」を育成する授業に力を入れてほしい。	校内の先生方による研究では、「算数科」を中心に児童が「わかる」「できる」楽しさを味わい、自ら学ぶ児童を育成していくことを主題とし、授業の進め方について研究しています。授業の中で、一人一人が考える場面を設定し、問題を解決していく中でわかるようになってきたり、できるようになってきたりする授業を目指しています。
	歌の指導に力を入れることを継続してほしい。	江別太小学校の伝統の1つである素敵な歌声が聴こえなくなってしまったことに、私たち教職員も同様に寂しい思いです。感染状況が落ち着き、環境が整いましたら、歌唱指導も徐々に再開していきたいと考えています。
生活面	児童の言葉遣いや登下校中のマナーが悪い。	挨拶や相手を思いやる言動、ルール等について適宜指導してまいりました。今後も子供たちが安心・安全に学校生活を過ごせるように、言葉遣いや登下校中の安全について、ご家庭でも一声かけていただくようお願いいたします。
	トイレ清掃にこれまで以上に力を入れて欲しい。雑巾の寄付も募っていいのではないかな。	トイレ清掃は、子供たちのほかに10月よりスクール・サポート・スタッフが消毒も含めて行っています。これからは重点的に行ってまいります。 また、今年度はPTA活動の環境整備活動としてトイレ清掃を行いました。隅々まで大変きれいにいただきました。次年度のPTA活動でもトイレ清掃を行っていく方向で考えています。 雑巾の寄付について、保護者の方からそのような声を上げていただき、ありがたく思います。さっそく学校便りでも呼びかけておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。
行事	運動会、学習発表会の開催する曜日をどちらかを日曜日にしてほしい。	以前は、学習発表会が日曜開催でしたが、PTAとも相談しながら2年前より土曜開催としました。土曜休みをはさんで日曜開催にすると、子供たちのモチベーションの低下や疲労の蓄積など見られたため、土曜開催にした経緯があります。今後もどちらとも土曜開催とすることをご理解いただきますようお願いいたします。
	運動会の観覧マナーの改善が必要。(ビデオの撮影場所、マスクの着用、飲酒等)	今年度は、予定通りに参観日等が実施できず、学校でのお子様の様子をご覧いただく機会が大変少ない中、運動会等の大きな行事は、地域や保護者の皆様の規制等に対するご理解と協力のもと、実施することができました。 マナーやルールを守っていただくことに関しては、保護者の皆様も子供同様一人お一人が相手の立場に立った行動をお願いいたします。今後もお便りやメール等で呼びかけを継続してまいりますので、ご協力をお願いいたします。
	コロナ禍の行事の考え方について	行事の実施については、北海道教育委員会、江別市教育委員会からの通知や感染状況から判断してまいりました。今後も、子供たちや保護者や地域の皆様の安心、安全を第一に考えて教育活動を進めていきます。
その他	教職員による子供達への言葉がけを配慮してほしい。	教育活動において最も重要な教育環境は教職員です。このことを改めて、教職員全員で再確認したところです。今後は、厳しく指導した後は、フォローをしっかりと行うなど、教職員の言動で傷つく児童が出ない指導を行ってまいります。
	不登校(風邪症状で出停になる等、休むハードルが下がっている)やいじめに対する学校の取組について	感染症拡大防止のため、現在、最も大切なことは「安心・安全」です。風邪症状でも学校をお休みしなければならない理由を、ご家庭でもお子様にご指導いただくと幸いです。 いじめに関しては、道教委アンケートや学校独自の調査等で把握し、個々に面談する等の指導を行っています。また、日常の観察、お子様や保護者の皆様の訴えにも誠心誠意に耳を傾け、指導してきました。今後も、いじめに関する対策(未然防止、早期発見、早期対応)を十分に講じていきます。
	出席停止中の学習環境の整備について	出席停止中等にインターネットを利用して授業に参加することはできません。今後、GIGAスクール構想として、学校のインターネット環境が大きく改善されますので、これまでのプリント類に加え、タブレット等での学習も予定されております。
	休校中の学習課題が多く大変であった。	4月後半から5月の休校中、各ご家庭には、多大なる学習面へのサポートをいただきましたことに感謝いたします。休校中は、今後の見通しが付きにくかったため、課題を多目に出しておりました。課題が多かったという意見の一方で、もっと出して欲しいという子供や保護者の声もありましたので、子供の実態に即したものにしていきます

個人に関する事、学級・学年に関する事等のご意見もいただきましたが、それぞれ個人懇談、電話、お便りで回答しております。

学校評価及び学校関係者のお知らせ

学校便り1月号でお知らせした通り、過日1月19日(火)に第3回学校運営委員会を行いました。以下、評価の概要をまとめますのでご一読ください。学校、家庭、地域が一層連携を深め、次年度教育活動を更に充実させていきます。

分野	評価目標	学校の自己評価				学校関係者評価
		達成状況	成果	課題	改善の方策	意見
経営の重点	凡事徹底の定着	B	○通年で児童会書記局を中心した挨拶運動が行われており、積極的に挨拶をする児童が増えてきている。	●教師のいない場での言葉遣いが良くないと保護者からも指摘されている。	◎言葉遣いの改善に向けて、児童会を中心に、児童同士の評価も活用しながら取組を進める。	・江別太小の児童が元気に挨拶してくれる。低学年の挨拶がもう少し元気になるといい。
	一人一人に基礎・基本の確実な定着と体力の向上	B	○全学級において、課題、まとめ、定着、振り返り(自己評価)の「学びのスタイル」が定着してきている。	●話し合い活動等で互いの考えを高め合うことや、歌唱、体力向上の取組は制限が多く、難しい面があった。	◎新体力テストの全学年全種目の実施、30秒体力UP、縄跳び等に力を入れて取り組んでいく。	・学校は、コロナ禍において、できることを見極めて、十分に取り組みを進めていた。
	自他の良さを認め、思いやりの心と自己有用感の育成	B	○書記局を中心とした思いやりをの大切さを伝える「コロナいじめはダメ(TV放送)」を行った。	●トイレでのいたづら、壁へのいたづら書き、廊下を走る等、相手への迷惑行為が幾度か見られた。	◎本校の児童会活動は、生き生きと活動しており、取組も充実している。今後も更に発展させていく。	・思いやりの心を育む教育に力を入れて取り組んでほしい。
	家庭や地域と連携し、よりよい生活の仕方の定着	A	○コロナ禍においても、学校運営委員会(CS)を開催し、地域との連携を図ることができた。	●土曜広場や全ての地域行事が中止になり、例年通りの連携、交流をもつことはできなかった。	◎感染状況を踏まえ、地域・家庭と交流・連携を図り、子供たちを育てていく体制を再確認し、再構築する。	・情報発信は、回数が大切なのではなく、内容が大切である。次年度も適切な情報発信をお願いしたい。
教育課程・学習指導	教育課程の柔軟な改善	B	○休校があったが、行事の見直し等を行い、現時点で授業時数が標準時数を上回ることができている。	●外部講師を招いての学習が計画通りにできなかった。(9月頃より実施できるようになった)	◎今年度、活動を制限した学習活動については、次年度に可能な限り補完できるようにする。	・休校のためにできなかったことが多かったが、授業時数を概ね回復できたのは、良かった。
	基礎基本の定着	B	○家庭学習強化週間を江陽中学校の定期テストの時期に変更し、家庭の協力を今まで以上に得られやすくなった。	●「時間を守り家庭学習をする」では、児童・保護者アンケート共に昨年比約8%下がっている。	◎家庭学習は、学習する内容(自分に必要必要な学習等)も指導し、内容の充実を図る。	・小中学生が、同時期に家庭学習に力を入れることは、とても良いことである。
	特別支援教育の充実	A	○コーディネーターを中心に、数多くの教育相談を実施し、児童の実態に応じた支援を行ってきた。	●教育相談の件数がたいへん多く、迅速に相談の場を設定することが困難な時があった。	◎継続して他機関との連携を深め、児童、保護者の困り感を十分に理解し、適切に支援・指導する。	・特別支援教育の対する本校の取組に、更に期待する。
生徒指導	いじめ根絶の取組	A	○児童アンケートでは「いじめはしない」と回答した児童が95%と高い結果が出た。	●いじめはあまり見られないが、他の人が迷惑に感じるいたづらが数件あった。	◎「いじめはしない」の回答を全ての子供とするために、心の教育の充実等を更に進めていく。	・正しいこと、間違えていることを自ら判断し、発言できるように、児童を導くことに重点をおいてほしい。
	きまりを守り、最後までやり抜く子の育成	B	○活動に対して、目標を持たせ、成果等を振り返る取組を行ったことで、仲間意識等の高まりが見られた。	●校内でのきまりは守っているが、校外のきまり(特に公園で遊び方等)を守る意識は希薄な面がある。	◎課題に対して、主体的に関わったり自分の考えを書いたり、発表したりできるように指導を工夫する。	・達成度がBになっているが、学校が十分にに取り組んでいたと思う。
	メディアとの適切な関わり	C	○「えべつスマート4スクール」を周知する取組を行った。(認知度は上がっている)	●児童のスマートフォンの利用の仕方(SNSの利用の仕方等)によるトラブルが数件あった。	◎ゲームやSNSの約束を守るができるように、強く指導する。	・情報モラルは、学校からの啓発とともに、何と云っても、家庭が中心とならなければならない。